

一 般 質 問 通 告 書

令和元年 8月26日

前

午後 3時 15分 受付
後

下記のとおり質問いたしますから通告いたします。

令和元年 8月26日



湖西市議会議長 加藤 弘己 様

湖西市議会議員 菅沼 淳



質問方式 (○を付ける)		<input checked="" type="checkbox"/> 一問一答 ・ 一括の質問答弁 ・ 一括と一問一答
番号	主 題	
1	浜名湖を資源とする湖西市の漁業と浜名湖に放流する下水処理水 について	
2		
3		
4		
5		

※ 質問の要旨は別紙参照

番号	主 題
1	浜名湖を資源とする湖西市の漁業と浜名湖に放流する下水処理水について
質 問 の 要 旨	
<p data-bbox="244 533 818 566">(質問しようとする背景や経緯)</p> <p data-bbox="225 640 1369 887">一次産業（農林水産業）は、生存していくためには欠かすことのできない産業であり、また食料における国内での自給は、今日の国際社会で関係諸国との外交を考えれば、我が国の国力に直結する重要な産業であることも共通の認識であると思えます。</p> <p data-bbox="225 909 1369 1368">そのような重要な一次産業の内、水産業における湖西市の漁業に関する漁協（新居・鷲津・入出支所）による数年のデータによりますと、漁業従事者（正組合員）は平成24年の269名から令和1年5月時には231名と40名近く減少し、魚介類の水揚げ高は、多少増減の推移はありますが平成27年度の3億5,447万円から平成30年度は2億1,225万円と減少し特に中心とされるアサリの水揚げ高は、平成27年度の2億3,486万円から平成30年度は9,647万円と激減し、本年度は更なる減少が見込まれるという予測をされております。</p> <p data-bbox="225 1391 1369 1962">従事者1人当たりの年間平均水揚げ高は150万円から100万円足らずと生計もままならない状況において、半農半漁で生計を維持している従事者もおられるようですが、そのような条件を持たないその他の従事者は、新たな職を求め廃業する、また短期のアルバイト、日雇い労働などで何とか生計を維持しているところではありますが不漁が続くなら廃業も考えなければならない、と大変深刻な状況にあるようです。漁協組合におきましても危機的な不漁と捉え、要因・問題点を分析し振興対策に取り組んでおられるようですが、コスト面・自然環境への影響・従事者の意欲、等々壁は高く対策も遅々として推進できない状況であると伺っております。</p> <p data-bbox="225 1984 1369 2067">以上を背景・経緯とした「湖西市の漁業について」の質問と「浜名湖に放流する下水処理水」につきましては、以前より漁</p>	

業関係者から、放流場所近辺の水質の影響が不漁の要因に関係しているのではないかと疑問の声を聴いていたところからのものですが、何ら根拠を証明されたものではないことから、確認の意味で質問をさせていただくものです。

(質問の目的)

不漁の続く浜名湖を資源とする湖西市漁業の活性化・振興に行政としての支援(対策・取り組み)を考えていただきたい。

(質問事項)

【浜名湖を資源とする湖西市の漁業について】

1. 市は不漁の続く湖西市の漁業についてその要因をどのように分析し、漁業関係者を取り巻く現状をどのように捉えているのか。
2. 市は現在、漁業の振興にどのような取り組みをされているのか、また市として不漁に対する今後の対策を考えているのか。

【浜名湖に放流する下水処理水について】

3. 浜名湖に放流される下水処理水の水質基準とはどのような基準か。海洋への放流と同様であるのか。
4. 放流前の最終処理(殺菌・消毒)はどのような方法か。
5. 放流(処理水)後の浜名湖の生態(魚介・植物)への影響調査はされているか。
6. 湖西市は、浜名漁業協同組合と下水処理施設との公害防止について協定などを結んでいるか。

※ 質問の要旨は具体的に記入すること

一 般 質 問 通 告 書

令和元年 8 月 26 日

前

午後 3 時 16 分 受付
後

下記のとおり質問いたしますから通告いたします。



令和元年 8 月 26 日

湖西市議会議長 加藤 弘己 様

湖西市議会議員 加藤 治司



質問方式 (○を付ける)	一問一答 <input checked="" type="radio"/> 一括の質問答弁 <input type="radio"/> 一括と一問一答 <input type="radio"/>
番号	主 題
1	市役所内、改善活動(5S活動)導入について
2	
3	
4	
5	

※ 質問の要旨は別紙参照

番号	主 題
1	市役所内、改善活動(5S活動)導入について
質 問 の 要 旨	
<p>(質問しようとする背景や経緯)</p> <p>私は5月から新人議員として活動を開始し、議会や行政運営に関する教育を受け、先輩議員のご指導を受けながら活動して来ました。5月から8月の4か月間ですが、令和への改元から始まり、旧総合計画の総括と新総合計画の構想立案、タブレット導入による議会のICT化等2019年から2020年は大きな変化点である事が確認出来ました。</p> <p>ここで質問の主題との関係ですが、市の行政は、市民へのサービス提供が主目的であり、市民の立場から見れば今年から来年にかけての大きく変わっていく様子や努力が、一目見て分かる事が大切です。</p> <p>このように考えた時、私が民間企業勤務時代にお客様から言われた事を思い出しました。「訪問して玄関や職場に一步入れば、相手の実力は分かる」という、言葉です。</p> <p>簡単に言えば「効率良く働きやすい職場ですか?」という事です。お客様の声を市民の声に置き換えると、「効率良く働きやすい市役所ですか?」となります。</p> <p>私が市民の代表としての立場で市役所を見た印象は、乱雑であり、これでは効率良く仕事が出来ないのではないかと考えてしまいます。そこで、それを実施する改善手法として、「5S活動」の導入を提案します。「5S活動」は、すべての改善活動の基礎となる改善です。</p> <p>整理・整頓(定置・定品・定量)・清掃・清潔・躰の5Sを実施すれば、自分の机・職場・建物全体がスッキリして「見た目の変化」・空きスペース確保・安全対策・業務の効率向上・若手職員の教育等につながります。</p> <p>(質問の目的)</p> <p>湖西市にとって今年から来年にかけては、大きな変化点であり、第6次総合計画スタートの前に、市役所を今より更に、「効率よく働ける職場」にして、市民の信頼を高める。</p>	

(質問事項)

1. 5S 改善活動は、日頃実施している年末の大掃除と似ています。
市役所では、過去・現在において、体系的な改善活動を実施した
事がありますか。

2. 市役所内を見渡すと、机や棚に書類が積んであったり、カーテン
などが外れたまま直っていない場所があるなど、市民からすると
見苦しいと感じます。市役所内の整理整頓・美化に関する責任者や
統括者は決まっていますか。

3. 市役所は書類が多く、空きスペース不足の話を聞きました。書類の
保存に関しては、どのような規定に基づいて処理をされていますか。

4. 5S 活動の展開方法ですが、いきなり全市役所展開は無理です。
まずは、多くの市民が来庁する市民課などがモデルとなって
活動を行ってはいかがですか。

5. 以上、極力費用の掛からない 5S 改善活動の実行を提案します。
実際に愛知県長久手市などでは、副市長が推進責任者となり、庁内
全体で 5S 活動に取り組んでおられます。ぜひ、湖西市も 5S 活動を
行う事を銘打って、改善前・改善後の定点写真を公開するなど、
市民に効率の良い職場であることをアピールしていただきたいと
思いますが、いかがでしょうか。

以上

※ 質問の要旨は具体的に記入すること

一 般 質 問 通 告 書

令和元年 8月26日

前

午後 3時 22分 受付
後

下記のとおり質問いたしますから通告いたします。

令和元年 8月26日



湖西市議会議長 加藤 弘己 様

湖西市議会議員 馬 場 衛



質問方式 (○を付ける)	<input checked="" type="checkbox"/> 一問一答 ・ 一括の質問答弁 ・ 一括と一問一答
番号	主 題
1	安全・安心なまちづくりについて
2	
3	
4	
5	

※ 質問の要旨は別紙参照

番号	主 題
1	安全・安心なまちづくりについて
質 問 の 要 旨	
<p>(質問しようとする背景や経緯)</p> <p>市民の生命、身体、財産を守り、まちづくりを進めることは、行政の最も重要な使命と考えます。</p> <p>これまでの、議会活動においても、まちづくりは市民の安全・安心が一番をモットーに機会あるごとに、市（行政）の取り組みを確認させて頂きました。</p> <p>地震津波等の防災対策については、静岡県では東海沖地震説以降、大変長い年月の経つなかで、様々な地震対策について検討され、対策を講じてきている。この間、阪神淡路大震災・東日本大震災と想定外の地震、大津波が発生し大災害を経験した。そして、今は南海トラフによる大地震・大津波が想定され現在、県や市に於いて防災対策に取り組まれているところであり、今後の取り組みが重要である。</p> <p>児童、高齢者を対象にした交通安全対策については、高齢者の運転する車による、交通事故が後を絶たず社会問題となっている。交通事故による幼い命が失われると云う痛ましい事故を出さないための市の交通安全への取り組みは重要である。</p> <p>警察署の移転、新居地区交番の設置箇所の危機管理対策については、湖西警察署の移転に伴い、現在湖西警察署内にある交番機能（地域課が）中之郷地区への移転が進められようとしている。合併により“あらい警察”から“湖西警察”に呼び名も変わった上、交番の移転が中之郷と聞き、住民から危機管理における不安視する声を多く聞く。町内金融機関も全て東海道線より南側にあり、町民の7割もこの地域に暮らしている。交番は新所原・鷺津の交番のように駅の近くが一番良いとの声を聞くため状況を確認したい。</p> <p>豚コレラ対策への取り組みについては、県下トップの養豚生産数量を誇る湖西市に於いて、豚コレラの脅威がすぐそこまで来ている。市内で豚コレラの感染が発生した場合、市内養豚業者は無論、市民の食生活にも大きな影響が出ると考えられる。</p>	

今回、安全・安心なまちづくりと題し、以上の4項目について市の取り組み、進捗状況について伺う。

(質問の目的)

市民の、安全・安心な生活を確保するため。

(質問事項)

「防災対策について」

1. 防潮堤建設の考えと、着手時期は何時ごろか伺う。
2. 南海トラフ地震によるレベル2の人的被害が約4,000人を超えると想定されているが、現段階での防災対策の取り組みで、何人の人的被害を減少できると見込んでいるのか伺う。
3. 防災公園建設の見通しと、時期を伺う。

「交通安全対策について」

4. 湖西市における高齢者の運転免許証返納の状況と返納を推し進めるための市の施策はどうか。
5. 通学路における歩道の整備状況と安全確認は出来ているか伺う。

「危機管理対策について」

6. 交番の設置場所について、県警依存でなく、市が場所を選定する交渉も可能と考えるが当局の考えを伺う。

「豚コレラ対策について」

7. 豚コレラの防疫体制と市の取り組みの状況について伺う。
8. 県境に接する湖西市において、隣接する市との連携・情報交換は大事なことである、状況について伺う。
9. 養豚業者・業界と連携し、取り組んだ実績を伺う。

※ 質問の要旨は具体的に記入すること

一 般 質 問 通 告 書

令和元年 8月 26日

前

午後 3時 35分 受付

下記のとおり質問いたしますから通告いたします。

令和元年 8月 26日

湖西市議会議長 加藤 弘己様



湖西市議会議員 佐原 佳美



質問方式 (○を付ける)	一問一答 ・ 一括の質問答弁 ・ 一括と一問一答
番号	主 題
1	新規 産婦健康診査・産後ケア事業について
2	「通園・通学路安全対策の緊急要望」について
3	がん患者等への外見ケア支援について
4	
5	

※ 質問の要旨は別紙参照

番号	主 題
1	新規 産婦健康診査・産後ケア事業について
質 問 の 要 旨	
<p>(質問しようとする背景や経緯)</p> <p>私は、平成 26 年 3 月定例会一般質問で児童虐待による死亡は、ゼロ歳児が一番多く、主たる加害者は実母とのことから、児童虐待防止対策、少子化対策、女性のワークライフバランス、更には経済成長戦略などに関連づけて産後ケア事業を推進すべき。湖西病院で休床中の病棟を産後うつ傾向のお母さんや乳幼児のショートステイ（短期入所）やデイケア（通所ケア）施設として活用できないかと質問しました。</p> <p>当時の答弁は「休床病床は療養型病床への転換を考えているので、湖西病院での産後ケアは考えていない。」でした。</p> <p>しかし、湖西病院は同年 5 月より健診センターで助産師さんによる「新人ママさん応援します」との産後ケア、1 歳未満のお子さんの育児相談事業を月 1 回開始して下さいました。</p> <p>それから、5 年目の今年度、新設「産婦健康診査・産後ケア事業」として予算が付き、健康福祉部の重点事業に挙げられました。</p> <p>それを承認した本年 3 月の予算特別委員会で私が質疑した答弁では「出産した医療機関での産婦健診、産後 2 週間目と 4 週間目の費用と産後ケア事業として、ショートステイやデイケアの費用が計上されている」との説明でした。国の予算付けにより、当市もようやく実施されると嬉しかったです。更に市民が利用しやすい事業に発展すべく提案したい。</p> <p>(質問の目的)</p> <p>ショートステイやデイケアを含む産後ケア事業を市民が利用しやすい市内医療機関でも実施し、子育て支援の充実を図って欲しい。</p> <p>(質問事項)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 「産婦健康診査・産後ケア事業」について、それぞれ現在どのように運営し、これまでの課題、評価はどうですか。 2. 産後ケアについても出産した医療機関での実施のみとしているのか。 3. ショートステイやデイケアを含む「産後ケア」事業を産婦人科医や助産師が居て、休床病棟の活用を検討中の湖西病院でも実施できないか。 <p>質問の要旨は具体的に記入すること</p>	

番号	主 題
2	「通園・通学路安全対策の緊急要望」について
質 問 の 要 旨	
<p>(質問しようとする背景や経緯)</p> <p>本年5月14日、私は5月8日に大津市で保育園児2人が犠牲となった交通事故を受けて、「通園・通学路の安全対策について緊急要望」として市長に要望書をお届けしました。</p> <p>また、大津市で被害にあった保育園と同様に園庭が敷地内に無く、既存の公園を代替地として外遊びに出かける小規模保育園の要望も訪問調査して、共にお届けしました。</p> <p>市長は「子ども達の安全安心を最優先に考え、警察など関係機関と協議しながら進めていきたい」と対応して下さいましたので、その後の進捗状況を伺いたい。</p> <p>※市として答えられない内容などは、関係機関に対しての働きかけや関係機関の動向などを答えられる範囲で教えていただきたいです。</p> <p>(質問の目的)</p> <p>子ども、歩行者の安全が守られる道路整備を早期実現して欲しい。</p> <p>(質問事項)：要望項目毎</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 通園・通学時、園外・校外活動中の安全確保対策、交差点の安全総点検の実施はされたか。 2. 自動車の右左折による事故防止のための信号システムの改善と、交差点の中央部分への右折用停止線の導入は、如何か。 3. 大きな交差点の歩道部分へのガードレールの設置は如何か。 4. 保育園・幼稚園等があることをドライバー等に知らせる道路へのスクールゾーンのようなマークキングの要望は、大津市が7月に「キッズゾーン」と緑の地面に白字で描いたものを全国初で設置と新聞報道されたが、同様なマークの設置は如何か。 	

番号	主 題
3	がん患者等への外見ケア支援について
質 問 の 要 旨	
<p>(質問しようとする背景や経緯)</p> <p>日本人の40歳以上の2人に1人が生涯の内のがんに罹患するといわれており、身近にも体験しているところです。</p> <p>私は、これまで、小中学生へのがん教育の推進から大人のがん検診の受診率アップを目指す政策や湖西病院の休床病棟に緩和ケア病棟を開設できないか等がんに関する一般質問をして参りましたが、いずれも実現に到っていません。</p> <p>静岡県は公明党の早川、盛月県議の推進により、今年度から</p> <p>①がん治療で脱毛した人が着けるウィッグ(かつら)や乳房手術後に使う補正下着など、外見ケアに必要な装具の購入費を補助</p> <p>②40歳未満を対象に、妊娠する可能性を残す妊孕性温存治療^{にんよう}の費用を支援</p> <p>③小児・若年末期がん患者の在宅療養生活について経費を支援</p> <p>3項目の事業制度「若年がん患者等支援事業費助成」を創設し(詳細は、配布資料参照)、県民ががんに罹っても充実した生活が送れるように、市町がこれらの支援をする場合助成を行うと知りました。これらの事業は、是非とも湖西市も実施して欲しい。</p> <p>(質問の目的)</p> <p>がん治療に向き合っている方々に寄り添い、健康保険対象外で高価なウィッグや胸部補正下着の費用を補助して、がん患者のQOL(生活の質)をより高めて欲しい。</p> <p>(質問事項)</p> <p>1. 静岡県創設の「若年がん患者等支援事業費助成」を活用して、市民に上記3項目の費用を補助していくお考えは。</p> <p>2. がん治療で脱毛した子どもや若者・女性へ、髪の毛(15センチ又は31センチ以上の長さ)を寄付してウィッグをつくり無料提供する「ヘアドネーション」の活動を普及啓発するお考えは。</p>	

(件名)

令和元年6月1日

若年がん患者等への支援について

(医療健康局疾病対策課)

1. 概要

県はこれまで、平成20年3月に初めて策定した静岡県がん対策推進計画に基づき、県民がどこに住んでいても質の高いがん医療が受けられるように静岡がんセンターを中心とした国・県指定病院に対して医療機器の整備等や医療従事者の育成などがん医療の均てん化を図ってきた。

今回、医療の提供に加え、がん患者に対する取組として、「若年がん患者等支援事業費助成」を創設し、政令市を除く市町が下記の事業についてがん患者への支援を実施する場合、助成を行うことにより、県民ががんに罹っても充実した生活が送れるように支援していく。

2. 事業内容

区分	妊孕性温存治療支援		医療用補整具購入支援	在宅療養生活支援
内容	がん治療によってリスクが生じる生殖機能温存に係る費用に対する助成		がん治療によってウィッグや乳房補整具が必要な患者の購入に対する助成	小児・若年末期がん患者の居宅サービスや福祉用具の購入等に対する助成
対象経費	精子、卵子、卵巣組織等の採取または凍結保存するまでの一連の医療行為等に係る経費		ウィッグ(かつら)、乳房補整具(補整下着、人工乳房)の購入に係る経費	居宅サービス、福祉用具貸与・購入に係る経費
補助(対象)上限額	男性 20千円	女性 400千円	ウィッグ・補整下着 20千円 人工乳房 100千円	居宅サービス 50千円/月 福祉用具貸与 30千円/月 福祉用具購入 50千円/1人あたり
対象人数(政令市除く県内)	10人		700件	14人
補助対象	市町(政令市除く)			
負担割合※	県	1/2		4.5/10
	市	1/2		4.5/10
	患者	補助(対象)上限額を上回る分		1.0/10

※県は、市町の補助額の1/2又は4.5/10を上限に補助

一 般 質 問 通 告 書

令和元年 8 月 27 日

前
午 9 時 9 分 受付
後

下記のとおり質問いたしますから通告いたします。

令和元年 8 月 27 日

湖西市議会議長 加藤 弘己 様

湖西市議会議員 瀧本幸夫



質問方式 (○を付ける)		<input checked="" type="checkbox"/> 一問一答 ・ 一括の質問答弁 ・ 一括と一問一答
番号	主 題	
1	空き家対策と活用について	
2		
3		
4		
5		

※ 質問の要旨は別紙参照

番号	主 題
1	空き家対策と活用について
質 問 の 要 旨	
<p>(質問しようとする背景や経緯)</p> <p>平成 27 年 2 月 26 日から、空家等対策の推進に関する特別措置法が施行されました。</p> <p>4 年近くが経過し、全国的にその取組が広がる中、新たな課題や論点が顕在化し、様々な対策が講じられています。当市議会においても平成 29 年、30 年と先輩議員が空き家対策について一般質問を実施しておりますが、今後も少子高齢化や人口減少で市内の空き家の増加が懸念され、街並みの景観低下も懸念されます。</p> <p>私が、7 月に政務活動費を利用して受講した地方議員研究会主催の空き家対策セミナーでは、築 110 年の古民家の利用（民泊・観光・移住定住）、空き家をまちのリビングへ活用する取り組み（地域の交流拠点・働く場・生涯活躍に向けた場）、空き家の時間貸しの利活用（子供の居場所・英語教室等）といった実例が紹介されていました。</p> <p>地域の活性化と職住近接の推進に、官民挙げて空き家の活用に取り組んでいくべきと考えます。</p> <p>(質問の目的)</p> <p>街並みの景観の低下を食い止め空き家の活用を促進したい</p> <p>(質問事項)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 空き家バンクの登録と活用はいかにしているか。登録のメリットは 2. 空き家をリフォームして使用できるよう、家主と借主の間に入り、市としても公費支援をしていくような施策は 	

※ 質問の要旨は具体的に記入すること